

ADVANCE

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

vol. 90

JULY 2014

豊田工業大学広報誌



CONTENTS

特集 豊田工業大学の寮生活 02

TOPICS

- 2013年度 卒業式・修了式 04
- 2013年度 卒業・修了生の進路状況 05
- 卒業・修了生に聞く 内定獲得の秘訣 06
- 2014年度 入学式 07
- 2014年度 入試結果 07
- こんにちは、先輩! 08
- 役員一覧・人事紹介 09
- NEWS FILE 10
- 2013年度 学校法人トヨタ学園の決算概況 11
- 新キャンパスNEWS 12
- 受賞 12

SCHEDULE 行事予定 (7月~12月)

学 事

■ 7月24日~30日	修士前期定期試験
■ 7月26日~8月1日	学部前期定期試験
■ 7月31日~9月24日	修士学外実習
■ 8月2日~9月7日	夏期休業 *教職員夏期一斉休暇は8月5日~20日
■ 9月22日	後期授業開始
■ 12月27日~1月5日	冬期休業

イベント

■ 8月23日~24日	オープンキャンパス
■ 9月3日~4日	半導体プロセス実習・講習会
■ 9月13日~14日	天樹祭(大学祭)、オープンキャンパス
■ 10月10日	スマートエネルギー技術研究センターシンポジウム
■ 12月4日	企業向けオープンラボ

豊田工業大学の寮生活

近年、大学における学生寮の教育的な意義が見直されてきている。本学では大学設立構想の初期から全人教育の一環として1年次の全寮制が計画され、1981年の開学以来、継続している。

新入生たちは、寮での共同生活を通じ、自主性や協調性などの社会人基礎力を身につけていく一方で、本学での最も印象的な思い出を刻んでいるようだ。

新キャンパスにおいても、現行の寮制度の良さをさらに効果的に機能させる、新しい時代にふさわしい寮へと建て替えが予定されている。本学の特色の一つである1年次全寮制の仕組みについて紹介する。

寮制度の概要

豊田工業大学の学生寮は、久方寮と第2久方寮から成り、久方寮では男子学部生(132室)が、第2久方寮では男子大学院生(33室)および女子学生(12室)が生活している。学部1年生の男子学生は全寮制で、女子学生および2年生以降の男子学生は希望制としている。

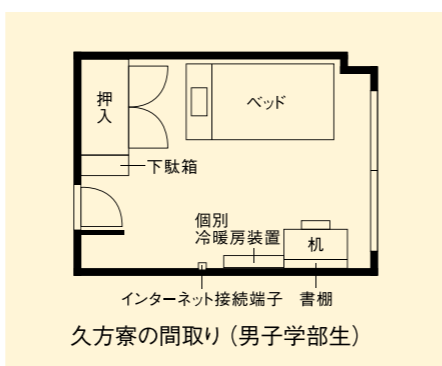
寮での生活を通じ、勉学に思う存分打ち込める環境の中で、自主性・自律心・意欲・協調性やリーダーシップなどの社会人基礎力を身につけ、豊かな人間性を養うことを狙いとしている。

寮の概要 ※2014年度現在

名称	対象	部屋数	寮費(光熱水費込み)	設備等
久方寮	学部生(男子)	132室	15,000円/月より	◎全室個室(冷暖房完備) ◎机、イス、ベッド、押入完備
第2久方寮	大学院生(男子)	33室	29,000円/月	◎インターネット・テレビアンテナ端子完備
	女子学生	12室	29,000円/月 (学部1年生は20,000円/月)	◎オートロック完備 ◎バス、トイレ、洗面共用



久方寮外観



久方寮の間取り(男子学部生)

寮での生活

8人で1グループを構成するフロアユニット制

寮は全部屋が個室で、久方寮の各フロアは共同居間(コモンルーム)を中心に8部屋が一つにまとまった構成になっている。これをフロアユニットと呼び、1年生7人と寮生サポーター1人が所属し、共同生活を送る。

また、各ユニットでは、2人1組の交代制で夕食当番を決め、週に4日ほど共同自炊をする場合が多い。フロアメンバー全員で夕食を囲むひときは、コミュニケーションを深める大事な時間となる。入寮前まで台所に立ったことのない学生でも、いつのまにかスーパーのチラシをチェックし、低コストで、飽きずに美味しく、かつ大量に調理する術を身につけていく。

夕食後は、自主的にコモンルームで2、3時間は勉強することが多い。ここでは、お互いの得意・不得意をカバーし合いながら、切磋琢磨している光景が見られる。

寮生サポーターの中村篤史君(学部3年/大阪府立千里高等学校出身)は「本学の宿題は、内容・量ともにこなすのが大変。要領がつかめていない1年生のうちは、極力勉強に専念するようアドバイスしている」と話す。

自主的に寮を運営していく寮生委員会

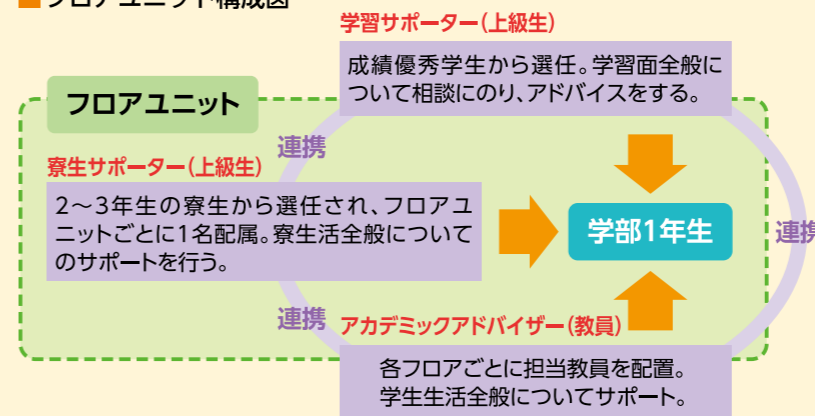
寮生自身による生活組織として、1年生は全員がいずれかの委員会に所属し、寮生活の改善を行う。

寮生委員会の役割

フロア幹事	フロアの代表として、寮全体に及ぶ問題を自主的にルール化していく際の調整役
防災委員	寮内の防犯/防災活動 防災避難訓練(年1回)および消火器の取り扱い訓練 寮内の防災点検(月1回)など
環境委員	ごみの分別や調理場、コモンルームの整理など寮内美化推進
交流委員	地域との交流活動(ソフトボール大会などへの参加)、勉強会、教養行事などの企画運営
レクリエーション委員	スポーツ行事をはじめとする寮生相互の親睦行事の企画運営

*上級生委員サポーター
上記の各委員会には、2名ずつの上級生がアドバイザーとして参加し、委員会活動を支援する。

フロアユニット構成図



※2年生以降は、1年生の寮生活を支援する各種サポーター以外は希望寮制。サポーターは、学業成績、学生の投票および教員との面談によって選出される。



コモンルームでの夕食風景

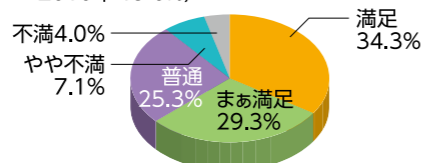
寮生活実態調査結果

【調査概要】

- 調査対象期間: 2013年10月26日~11月1日(1週間)
- 調査対象者: 2013年度入学の学部1年次全寮生(99名)
- 調査方法: 無記名アンケート
- 回答率: 100%

1 寮生活の満足度

「満足」が34.3%と年々増加
(2012年:28.0%、2011年:24.5%、
2010年:19.0%)



満足している点

- 大学に近く便利、寮費も安い
- 勉学、生活、趣味において協力できる
- 人間関係を良好に築くことができる

不満な点

- 施設全般の老朽化
- 共同生活に慣れるまでが大変

2 平均的な生活

内容	平均時間
自習	2時間21分
夕食(共同自炊)	1時間07分
趣味・娯楽	2時間28分
睡眠	5時間58分

3 その他の情報

- 起床時間 平均7時41分
- クラブ・サークル加入率 47%
- アルバイト従事率 23%
- 自炊率 朝食: 31.5%、
昼食: 68.3%、夕食: 80.4%

PICK UP

2016年夏に完成予定の学生寮完成イメージ



2013年度卒業式・修了式

2013年度卒業式・修了式を3月20日に、本学講堂にて挙行了。工学部卒業生は68名(専修プログラム17名、総合プログラム51名)、大学院工学研究科(修士課程)修了生は44名、博士(工学)学位取得者は5名、計117名が巣立っていった。

榊裕之学長から、学部代表の小坂真太郎君(愛知県立国府高等学校出身)と二村健太君(名古屋市立桜台高等学校出身)、修士代表の宇崎良君(兵庫県立小野高等学校出身)に、それぞれ学位記が授与された。また、博士学位についてはDO Huy Quocさん(ベトナム出身)、小林貴幸さん(三菱レイヨン株式会社)、PATRI Paramita Jayaさん(インドネシア出身)、CHUAJIW Wittayaさん(タイ出身)、XUE Xiaojieさん(中国出身)の学位取得が論文題目と併せて紹介された。

榊学長は、本学名誉理事長の豊田達郎氏の述べた「ゼネラルモーターズとの合併会社NUMMI設立に向けた交渉に携わり、米国人も日本人も同じ人間だと感じた」という言葉を紹介し「グローバル化時代の中で最も頼りになるのは、誠実さと相互信頼。これだけは堅持してほしい」と祝辞を贈った。続いて、瀧本正民理事長(トヨタ自動車株式会社 顧問、株式会社豊田中央研究所 特別顧問)は「現地・現物でしっかりモノや現場を観察し、多様な分野の人たちと連携しながら改善策を考えてほしい。そして、試してうまくいかな



川島浩靖君(愛知県立明和高等学校出身)

ければ原因を解析し、さらに改善を実行し続けることが重要」と激励した。

また、トヨタ自動車株式会社 名誉会長 豊田章一郎氏をはじめとする来賓の方々を代表し、トヨタ自動車株式会社 取締役副社長 須藤誠一氏が祝辞を述べた。須藤氏は「社会では新しい事象に臨機応変に対応し、自分のものにする柔軟な思考と粘り強さが必要」とメッセージを贈った。



卒業生を代表して亀山晃希君(岐阜県立岐阜北高等学校出身)は、大学生活での経験と成長を振り返り、修了生を代表して川島浩靖君(愛知県立明和高等学校出身)は、研究に打ち込んだ日々とその教育環境について謝辞を述べた。

最後に、学業成績・人物ともに特に優秀な人物に与えられる「豊田奨学基金賞」が、清水大河君(トヨタ自動車株式会社)と松浦洋航君

(宮崎県立宮崎大宮高等学校出身)に授与された。



トヨタ自動車株式会社 取締役副社長 須藤誠一氏

修了生の言葉

保木井美和さん(株式会社ジェイテクト出身:前列左)は、「企業に復帰後も、女子学生と研究者をつなぐネットワーク作りをしていきたい」とこれからの意気込みを語った。



2013年度卒業・修了生の進路状況

■就職決定率 **100%達成** (開学以来 100%)
■第一志望への就職率 **68%**

卒業・修了生の進路(就職は内定状況)

	学部		修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
卒業・修了	10(8)	58(82)	4(2)	38(28)	2(2)	1(1)	1(0)	4(0)
満了							0(1)	0(2)
企業復帰	10(8)		4(2)			0(1)		
就職		25(26)		38(27)			1(1)	
進学		32(54)		0(1)				
その他		1(2)			2(2)			4(2)
計	10(8)	58(82)	4(2)	38(28)	2(2)	1(1)	1(1)	4(2)
	68(90)		44(32)			6(4)		

()は昨年実績人数

一般学生の就職先一覧

(人数順、五十音順、★新規)

企業名	学部(25名)		修士(38名)	
	人数	企業名	人数	企業名
企業名	2	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	4	トヨタ自動車株式会社
	2	アイシン精機株式会社	3	株式会社デンソー
	2	株式会社ジェイテクト	3	三菱電機株式会社
	2	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社	2	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
	1	アイホン株式会社★	2	株式会社アドヴィックス
	1	株式会社アドヴィックス	2	矢崎総業株式会社
	1	株式会社アルチザネットワークス★	1	アイシン精機株式会社
	1	オーエスジー株式会社★	1	愛知製鋼株式会社★
	1	キャノン株式会社	1	オークマ株式会社★
	1	株式会社ジェイテック★	1	オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社★
	1	株式会社JDE★	1	河村電器産業株式会社★
	1	ソニーイーエムシーエス株式会社	1	株式会社協豊製作所
	1	株式会社トヨタコミュニケーションシステム	1	KDDI株式会社
	1	トヨタ自動車株式会社	1	小島プレス工業株式会社
	1	トヨタ車体株式会社	1	コニカミノルタ株式会社★
	1	日本発条株式会社	1	株式会社コベルコ科研★
	1	本田技研工業株式会社	1	サンディスク株式会社
	1	三菱ふそうトラック・バス株式会社★	1	株式会社ジェイテクト
	1	矢崎総業株式会社	1	ダンロップスポーツ株式会社
	1	公務員(岡崎市役所)★	1	中部電力株式会社★
	1	社会福祉法人新瑞福祉会★	1	東海理化株式会社
			1	豊田合成株式会社
			1	株式会社豊田自動織機
			1	トヨタ紡織株式会社
			1	株式会社日本総合研究所★
		1	日野自動車株式会社	
		1	フタバ産業株式会社	
		1	公務員(名古屋市役所)	

【参考】累計就職先上位 20 社 (1995 年~)

企業名	人数	企業名	人数
トヨタ自動車株式会社	62	トヨタ車体株式会社	12
株式会社デンソー	40	フタバ産業株式会社	12
株式会社豊田自動織機	39	ダイハツ工業株式会社	11
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	35	豊田合成株式会社	11
本田技研工業株式会社	35	キャノン株式会社	10
アイシン精機株式会社	33	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社	10
矢崎総業株式会社	27	日本精工株式会社	9
株式会社ジェイテクト	20	愛三工業株式会社	9
三菱電機株式会社	19	株式会社トヨタコミュニケーションシステム	9
トヨタ紡織株式会社	14	パナソニック株式会社	9

※社会人学生を除く一般学生のみのデータ

卒業・修了生に聞く 内定獲得の秘訣

2013年度も就職決定率100%を達成し、開学以来100%を維持する豊田工業大学。内定を勝ち取り、春から新社会人となった2人に、就職活動を振り返っての成功の秘訣や、後輩へのアドバイスを聞いた。

短時間で自分を理解してもらおう



加藤 奨大さん 学部

プロフィール

出身校：国立豊田工業高等専門学校（愛知県）
内定先：株式会社ジェイテクト
研究室：機械システム分野 熱エネルギーシステム研究室
研究テーマ：管内流熱伝達において、外表面加熱の均質性が等熱流束壁条件に及ぼす影響

私は小さい頃からモノを作る体験が好きでした。また、自動車にも興味があり、自分も作ってみたいという気持ちがあり、「モノづくり」を担うエンジニアになりたいという目標を持っていました。

高専から豊田工業大学へ編入学し、学部3年次の学外実習では、主に生産技術について学びました。製品検査で不合格品を出荷してしまい、全点検査も体験するなど、単純

にマニュアル通りにはいかないということを痛感しました。この経験から、「働く」とはどういうことなのか、イメージではなく体感することができました。

私が内定をいただいたジェイテクトは、「モノづくり」の基であるマザーマシンと呼ばれる工作機械や、自動車の根幹機能の一つである「曲がる」機能を担うステアリングを扱う企業です。モノづくり全体を支える企業であることに魅力を感じ、その中でも生産技術という生産を支える仕事に就きたいと考えました。

それは、現場で製品のチェックを行うなど、「現地現物」の考え方に近い一方で、生産効率が悪ければ製品の良し悪しには関係なく会社の利益とはならず、役割の重要性を感じているからです。

面接では、学外実習で得た生産技術の知識や経験だけでなく、これまでに習得してきた力学の知識や、卒業研究で学んだ熱移動のプロセス解析手法などを伝え、学んできたことを就職後にも生かしていきたいという熱意を伝えました。自分のことを知らない相手に、短時間で理解してもらうために、自分の目標とその動機、そして過程と結果を具体的に伝えることが重要だと感じました。

価値観に共鳴できる企業に出会う



柘植 英里奈さん 修士

プロフィール

出身校：私立愛知淑徳高等学校（愛知県）
内定先：小島プレス工業株式会社
研究室：表面科学研究室
研究テーマ：医療応用に向けたナノダイヤモンドの物性評価

私は幼い頃から人の命を守る仕事に就きたいと考えていました。豊田工業大学に入学した理由も、実用的なモノづくりに携わり、医療に応用できる素材の研究をしたいと考えたからです。

小島プレス工業では、車の内外装製品の形状や素材を通じ、事故を防ぐ研究開発に取り組んでいます。私が研究室で学んだナノサイズでの表面分析の手法や材料の

知識を、内装の樹脂製品づくりに生かせること、人の命を守る製品を世に生み出していることに魅力を感じ、志望しました。

面接では研究紹介、自己PR、就職後にやりたいことはもちろんのこと、人の命を守る仕事に携わり続けたいという強い思いや、人生の多くを過ごす場であるからこそ、女性として今後どのように仕事や家庭と向き合っていきたいかなどを、正直に伝えました。小島プレス工業では、家庭の和の上に会社が成り立つという考えのもと、女性でも定年まで働ける制度が充実し、私の理想と会社の方針が一致していると言っていました。

就職活動を行うことにより、自分を振り返ることができ、価値観に共鳴できる企業に出会え、社会人になる心構えができたと思います。後輩のみなさんも是非この機会に自分と向き合い、将来についてしっかりと考え、自分のやりたいことにマッチする企業を見つけてほしいと思います。

2014年度 入学式



2014年度入学式を4月1日に挙行し、学部90名、大学院修士課程32名、同博士後期課程1名の計123名が入学した。そのうち、本学と海外の連携大学の双方で修士学位を取得できる「ダブルディグリーコース」には、台湾の国立中興大学からCHANG Chun Yaoさんが入学した。榊裕之学長は「大学時代に最も大事なことは、人に頼らず自立し、自らを律する“自立と自律”の姿勢。本学の良さを享受するだけの存在ではなく、本学の価値を自らが主体となり、さらに高める一員であることを自覚してほしい」と、期待の言葉を贈った。



学校法人トヨタ学園 渡部教行常務理事

続いて、学校法人トヨタ学園 渡部教行常務理事は「高い志とそれに向かう努力、好奇心を持って様々なことにチャレンジしてほしい」と激励した。

また、豊田工業大学シカゴ校(TTI-C)の古井貞照学長は「今後は、知識ではなく、“問題を見つける力・解決力・創造力”がより重要となる。そのための“なぜ？”という意識と“考える力”を身につけてほしい」と挨拶した。

新入生を代表して、学部の鈴木健太君（静岡県立清水東高等学校出身）、大学院の渡邊将成君（名古屋市立名東高等学校出身）がそれぞれ誓いの言葉を述べ、これから始まる大学生活において、勉学や研究に励もうとする熱い意気込みを見せた。



豊田工業大学シカゴ校(TTI-C)古井貞照学長



2014年度入試結果

	入試区分	入学定員	募集人員	志願者	合格者	入学者
工学部	一般入試	80	50	836	329	85
	専門高校特別推薦入試(公募制)		若干	0	0	
	[サイエンス・ラボ体験コース]修了者対象推薦入試		若干	0	0	
	外国政府派遣留学生特別選抜入試		若干	0	0	
	社会人入試(含編入学試験) (内編入学試験)		30 (若干)	7 (1)	5 (1)	
高等専門学校卒業予定者を対象とする3年次編入学試験	若干	10	8	4		
大学院修士課程	一般入試	36		37	31	32
	学部3年次対象特別選抜入試(飛び級)		36	0	0	
	社会人入試			2	2	
	ダブルディグリー-留学生入学資格審査		若干	1	1	
大学院博士後期課程	夏季入試(2013年7月実施)	12		0	0	1*
	冬季入試(2013年11月実施)			0	0	
	外国人(海外在住)(2013年度内実施)			2	1	

※2013年10月入学

こんにちは、先輩!

毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を紹介しています。旧友の方々にとっては良き近況報告、学生・受験生の皆さんには、将来のキャリアプランと学生生活を考える機会になれば幸いです。今回は、1988年度に大学院を修了し、現在は株式会社東海理化にてご活躍中の林茂さんにご登場いただきます。

はやし しげる
林 茂 さん
Shigeru Hayashi

1988 年度修了 (第3期生)
研究室名 材料物性研究室(中島耕一教授)
現 職 株式会社 東海理化
執行役員
生産技術センター 副センター長

私は1983年に当社へ入社後すぐに研究部の配属となり、3年が経過した時、会社から大学で勉強(研究)をしてみないかとの話を受け、豊田工業大学大学院に入学し、2年間学ぶ機会を得ました。このような機会を最大限生かすべく、また会社に貢献できるよう必ず何かを身につけて卒業しなくては、というプレッシャーもありましたが、無事修了することができました。

修了後は再び研究部に戻り、その後、コネクタの設計担当となり、コネクタ生産部長、セキュリティ生技部長を経て、生技センターの副センター長となり、2013年6月に執行役員の任命を受けました。

副センター長として、モノづくり全般に携わる役目を担い、責任の重さを感じています。当社がさらに成長する未来を描くためにも、お客様の要望に応えるべく、低コスト化はもちろんのこと、モノづくりの基盤となる新製品を支える“モノづくり力のレベルアップ”を図っていきたく思います。

会社から豊田工業大学へ行かせてもらったことは、私にとって大きな分岐点となりました。社会人でありながら勉強に専念すること



ができ、とても貴重な経験をさせていただき、今でも大変感謝しています。大学院への入学条件の1つが企業経験3年以上だったこともあり、私と同期入学の多くはトヨタグループの方々でした。大学院では寮に入り、2年間寝食を共にしましたが、皆さん勤勉で、とても刺激を受け、多くを学ぶことができました。

何事も一人でやることには限界があるものです。周囲の頑張る姿に刺激を受け、時に研究について意見交換やアドバイスをし合うこともありました。また、お世話になった中島耕一先生の研究室では、ご指導いただいた先生、先輩、学部の方々とともに過ごした楽しい時間が昨日のこのように思い出されます。

当時も今も感じるのですが、相談できる人がいるということは、とても心強いものです。周りの皆さんの存在が私を支えてくれたのだと思っています。人とのつながりこそが、自分を成長させ

てくれ、自分を育ててくれるように思います。

大学にある豊田佐吉翁の胸像には「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」という言葉が刻まれており、発明を志す者として、この言葉をしっかり胸に刻んでいます。また「障子を開けてみよ、外は広いぞ」という有名な言葉もありますが、グローバルな視野を持って仕事に挑みなさいというメッセージだと私は受け取りました。偉人の名言・格言は、時に私たちに様々なヒントを与えてくれます。

企業人として開発に携わる者は、研究すること、勉強することが仕事ではなく、研究し勉強する中でモノをつくり出ししていくことこそが仕事です。私は当社がグローバル企業として益々成長できるよう、今以上に頑張っていきたいと思っています。

ぜひ、皆さんも仲間を大切に、志を高く持って輝かしい将来の実現に向け、ご活躍されることを期待致します。

学校法人トヨタ学園 役員一覧

2014年5月27日の理事会において、下記体制に変更となった(敬称略)。

名 誉 理 事 長	豊田 達郎	トヨタ自動車株式会社	顧問	豊田 章一郎	トヨタ自動車株式会社	名誉会長
理 事 長	瀧本 正民	株式会社豊田中央研究所	特別顧問	中村 俊一(新任)	アイシン精機株式会社	顧問・主監
常 務 理 事	渡部 教行	学校法人トヨタ学園	事務局長	古井 貞照	東京工業大学	名誉教授・特任教授
理 事	伊村 晟(新任)	株式会社豊田自動織機	相談役	宗岡 正二	新日鐵住金株式会社	代表取締役会長
	木村 文彦(新任)	法政大学	教授	山本 尚	中部大学	教授
	齋藤 明彦	株式会社デンソー	特別顧問	浜田 道代(新任)	名古屋大学	名誉教授
	榊 裕之	豊田工業大学	学長	岡本 一雄	日野自動車株式会社	相談役
監 事	下村 節宏	三菱電機株式会社	相談役	加藤 伸一	トヨタ自動車株式会社	顧問
	池淵 浩介	トヨタ自動車株式会社	顧問・技監	岸田 俊彦	豊田工業大学	元 常務理事
評 議 員	後藤 貞明	後藤公認会計士事務所	所長	木村 文彦(新任)	法政大学	教授
	瀧本 正民	株式会社豊田中央研究所 学校法人トヨタ学園	特別顧問 理事長	弦間 喜和	トヨタ自動車株式会社	材料技術開発部 グループ長(卒業生)
	榊 裕之	豊田工業大学	学長	齋藤 明彦	株式会社デンソー	特別顧問
	渡部 教行	学校法人トヨタ学園	常務理事	豊田 章一郎	トヨタ自動車株式会社	名誉会長
	柏原 正則	学校法人トヨタ学園	顧問	中村 俊一(新任)	アイシン精機株式会社	顧問・主監
	田中 周治	豊田工業大学	副学長	林 茂(新任)	株式会社東海理化	執行役員(卒業生)
	大石 泰丈(新任)	豊田工業大学	副学長	増田 義彦	株式会社豊田中央研究所	代表取締役
	成清 辰生	豊田工業大学	教授	ミカエル・カルマノ	南山大学	学長
	安立 長(新任)	豊田工業大学	事務局長	宗岡 正二	新日鐵住金株式会社	代表取締役会長
	新井 正敏	カルソニックカンセイ株式会社	デジタル化推進グループ シニアエキスパートエンジニア	矢崎 裕彦	矢崎総業株式会社	代表取締役会長
	荒木 隆司	トヨタ自動車株式会社	顧問	山本 尚(新任)	中部大学	教授
	石川 宣勝	株式会社豊田中央研究所	元代表取締役所長	吉川 靖司	トヨタ紡織株式会社	専務役員(卒業生)

(2014年7月1日現在)

人事紹介

新 任



知能数理研究室

三輪 誠 准教授 (33 歳)

2008年 東京大学 博士(科学)
2008~2011年 東京大学 特任研究員
2011~2014年 マンチェスター大学 Research Associate
2014年4月 本学准教授に着任

主な研究分野

機械学習や人工知能技術を用いて、日本語や英語などの自然言語文書からの情報抽出や囲碁や将棋といったゲームを対象としたプログラムの強化の研究を行います。さらに、これらの問題で得た知見を利用し、様々な形で蓄積されている情報を活用できる賢いコンピュータを目指して、理論から応用まで幅広い研究を推進します。

昇 格



2014年7月1日付
クラスター研究室
市橋 正彦
受託客員教授に昇格



2014年7月1日付
クラスター研究室
安松 久登
受託客員教授に昇格

井川 正治 株式会社ジェイテクト 相談役がシニアエグゼクティブ アドバイザーに就任



井川正治 株式会社ジェイテクト相談役が、7月1日付でシニアエグゼクティブアドバイザーに就任した。任期は2016年6月末までの2年間の予定。

井川氏は、トヨタ自動車株式会社で生産技術を担当後、専務を経て株式会社ジェイテクト社長、その後、副会長に就任。6月26日付で同社相談役に就いた。

産業界における長年の豊富な経験を生かし、研究・開発から生産技術・製造まで、スルーでのものづくりの科学について、本学の教育の充実に向けたアドバイスをを行う。

FILE-01

第14回 先端フロンテクノロジー研究センター
シンポジウム開催(3/7)

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「先端フロンテクノロジー研究センター(センター長:大石泰丈教授)」のシンポジウムを3月7日に開催し、98名が参加した。

本センターは、1997年度に採択されて以降、17年にわたり4つの研究プロジェクトを推進。2011年度に新たに始まった「超オクターブフォトニクスプロジェクト」では、超低消費電力ネットワーク技術構築に必要な光デバイスの実現を目指し、研究している。

シンポジウムでは、大石泰丈センター

長をはじめとする5名の研究成果発表と、39件のポスターセッションを実施した。また、古澤明氏(東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻 教授)、佐々木進氏(JAXA 名誉教授)による招待講演を行った。

古澤氏は、量子情報通信の基礎と、量子ゲートテレポーテーションを用いた極限のコヒーレント光通信技術について、佐々木氏は、宇宙太陽光発電システムの仕組みと研究の歴史や必要な技術、今後の研究開発の展望について、それぞれ最新の研究状況を報告した。

FILE-02

「修士課程 高度教養科目」を新たに開講(5/15)

2014年度から新たに大学院修士課程の高度教養科目として開講した「科学・技術と人間・社会」の第1回目となる授業が5月15日に開催された。



榊裕之学長(左)と石丸典生氏(右)

第1回目は株式会社デンソー 特別顧問の石丸典生氏をお招きし、「科学技術者の務め」と題し人類の永続と幸せのためになすべきことについて、企業での豊富なご経験に基づいた講演と、併せて学生とのディスカッションを行った。

本科目は、榊裕之学長の発案により産業界や学界などで活躍してこられた著名な方々をお招きし、前・後期の計4回実施する。

今後は、瀧本正民理事長、佐藤文隆氏(宇宙理論物理学者・京都大学名誉教授)、浜田道代氏(元公正取引委員会委員・名古屋大学名誉教授)にご登壇いただく予定。

FILE-04

モノづくりによる創意工夫を競う イノベーションコンテスト開催(6/30)

寮生活で感じる不便さや問題点を、独自のアイデアにより解決し、その内容を3分間にまとめたビデオ発表により「着眼点・創意工夫・モノづくり・プレゼンテーション」の総合力を競うイノベーションコンテストが6月30日に開催された。

教務委員長の齋藤和也教授および参加チーム同士で採点した結果、ペットボトルのビニールラベルを分離し処理する装

置を作製したチームが優勝した。優勝チームの学生は「専門知識を使うのではなく、アイデアと低コストを意識して作り上げた。仲間とアイデアを絞って作り上げる楽しさを満喫できた」と語った。

〈ペットボトルラベル分離装置〉
ペットボトルを資源ゴミとして処分する際には、本体とラベルを分別して処分する必要がある。この際の手間を解決すべく、内部のカッターでラベルを分離し、扇風機の回転部分を活用した機構によりペットボトルを送り出し、ラベルとは別々に各ごみ箱に入る仕組みとしている。



FILE-03

新入生と学長の懇談会を開始

2014年度の新入生から、グループごとに榊裕之学長と英語・日本語を併用して懇談する取り組みを新たに開始した。榊学長発案による本取り組みは、全新生を対象とし、7人程度のグループごとに、国際交流スペース(i Plaza)にて昼食時間も利用し、約90分かけて行う。

懇談会は、初めに学生が事前に用意した英文での自己紹介を行う。続いて、榊学長が科学雑誌「Nature」に本学が掲載された記事を紹介し、英文でどのように紹介されているのかを説明の上、学生が外国人に対して本学を説明する際の参考にしてほしいと話した。



また、豊田佐吉翁をはじめとする科学・技術分野における世界の革新者たちの残した言葉を英文で紹介し、学生が和訳を試みながら、討論を行った。

参加した学生からは「初めは緊張したが、あつという間の楽しい時間だった」との感想が聞かれた。

1. 学校法人が作成する計算書類について

学校法人会計基準に基づいて作成する計算書類には大きく分けて、以下の3種類がある。

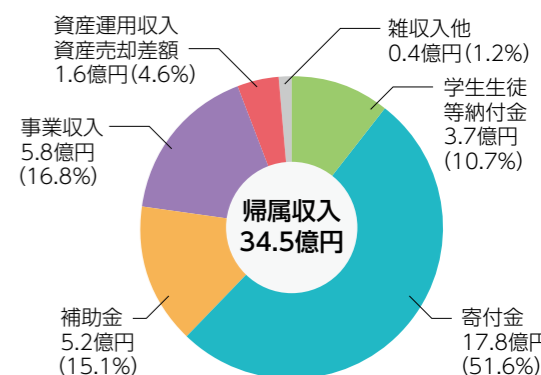
- 消費収支計算書(表1)、帰属収入と消費支出の構成グラフ(図1)
当該年度の消費に対応する収入と支出の内容を明らかにし、さらに両者の均衡の状態も表し、私学の財政と経営の状態を知ることが可能。
- 資金収支計算書(表2)
当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入・支出の内容を知ることが可能。
- 貸借対照表(表3)
当該年度末における資産、負債、正味財産(基本金、消費収支差額)の状態、つまり学校法人の財政状態を知ることが可能。

2. 消費収支計算書について

(表1)2013年度 消費収支計算書

科目	当初予算	決算	差異 (決算-予算)
①帰属収入合計	3,124,311	3,453,402	329,091
②基本金組入額	△178,958	△467,015	△288,057
③消費収入合計 [①+②]	2,945,353	2,986,387	41,034
④消費支出合計	3,016,144	3,094,104	77,960
⑤当年度消費支出超過額 [③-④]	△70,791	△107,717	△36,926

(図1)帰属収入と消費支出の構成グラフ



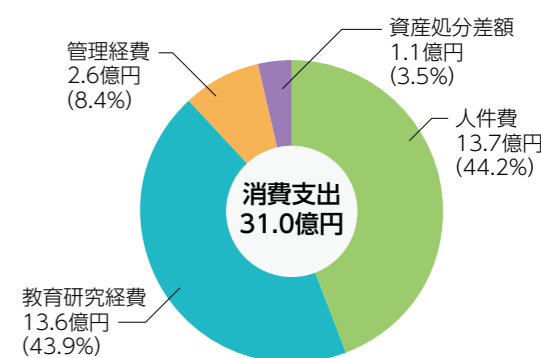
2013年度 決算概況

2013年度は、支出が当初予算を超過する見込みとなったため、年度途中で補正予算を作成した。

当初予算と決算との比較では、帰属収入は、予算より3.3億円増の34.5億円となった。これは主に、政府補正予算による大型受託研究費の増、および寄付金の増によるものである。

また、基本金組入額は、当初予算より2.9億円増の4.7億円となった。これは前述の大型受託研究費による設備取得の増および寄付金の3号基本金への組入によるものである。

一方、消費支出は、当初予算より0.8億円増の31億円となった。これは主に、教員採用の前倒し等により人件費が増加したためである。この結果、収支差は対予算△0.4億円の△1.1億円となった。なお、翌年度繰越消費収入超過額は、5.0億円(大学部門)となっている。



3. 資金収支計算書および貸借対照表について

(表2)2013年度 資金収支計算書

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生納付金収入	368,724	人件費支出	1,331,152
手数料収入	11,244	教育研究経費支出	796,241
寄付金収入	1,724,420	管理経費支出	233,280
補助金収入	517,438	施設関係支出	159,451
資産運用収入	154,885	設備関係支出	547,030
資産売却収入	22,175,504	資産運用支出	23,128,842
事業収入	582,761	その他の支出	3,064,501
雑収入	31,421	資金支出調整勘定	△185,274
前受金収入	85,471	次年度繰越支払資金	933,152
その他の収入	3,023,912		
資金収入調整勘定	△233,336		
前年度繰越支払資金	1,565,931		
収入の部合計	30,008,375	支出の部合計	30,008,375

(表3)2013年度 貸借対照表

資産		負債、基本金、消費収支差額	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	30,618,380	固定負債	365,696
有形固定資産	9,801,028	退職給与引当金	358,068
土地・建物・構築物	6,561,558	その他	7,628
教育研究用備品	2,509,175	流動負債	283,852
図書	540,307	未払金	169,347
その他	189,988	その他	114,505
その他の固定資産	20,817,352	負債合計	649,548
長期有価証券	5,132,039	第1号基本金	20,499,532
引当特定資産	14,147,291	第2号基本金	500,000
その他	1,538,022	第3号基本金	13,289,223
流動資産	6,441,917	第4号基本金	196,000
現金預金	933,152	基本金合計	34,484,755
有価証券	5,332,974	繰越消費収入超過額	1,925,994
その他	175,791	消費収支差額合計	1,925,994
資産合計	37,060,297	負債、基本金、消費収支差額合計	37,060,297

※本学では申し出に応じて財務計算書類の閲覧または写しの交付を行っていますので、希望される方は研究支援部 経理調達グループまでご連絡ください。

新キャンパス NEWS

国際交流センター 地鎮祭開催 (5/12)

新キャンパス建設の第一弾となる「国際交流センター」の着工に先立ち、地鎮祭を5月12日に執り行った。瀧本正民理事長、榊裕之学長はじめ、設計と施工をそれぞれ担う株式会社久米設計、トヨタT&S建設株式会社などの関係者約30名が出席した。建設予定地は、株式会社豊田中央研究所から新たに購入した本学南側の土



国際交流センターCGパース



交流スペースイメージ

地約2,420㎡。
 外国人留学生やPD研究員などの宿泊・滞在機能を有し、海外インターンシップを予定している修士・学部学生の語学研修の場、海外の文化や生活に触れ国際性を育む場として、2015年3月に完成する予定。建物内は、交流スペースと共有のダイニングキッチン、個室ゾーンから成り、自然にコミュニケーションが生み出されることを企図した配置となっている。

瀧本理事長は「学内外の協力を得ながら国際的に活躍できる技術者・研究者を育成できる施設を目指したい」と挨拶した。



【国際交流センター概要】

敷地面積：約2,420㎡／建築面積：約1,400㎡／延床面積：約3,500㎡
 寮室(ドクター 19.8㎡)：46室(南側1-3階)
 寮室(ポストドクター・シングル 22.5㎡)：15室(北側1-2階)
 寮室(ポストドクター・ファミリー 43.3㎡)：4室(北側3階)
 寮室(ゲスト 33.4㎡)：4室(北側3階)
 短期宿泊スペース(語学研修用)：男女各1室(北側2階)

受賞

学内 豊田奨学基金 研究賞

研究業績賞

完成度が高く、学術あるいは技術の発展に寄与するところが大きく、大いに社会に貢献すると認められる研究に対し、その業績を顕彰することを目的として授与する。

受賞者	研究テーマ	受賞理由
成清 辰生 教授 (制御システム研究室)	非ホロノミックシステムの非線形および適応制御理論の構築	制御理論の高度化とその実証の研究に一貫して取り組み、卓越した研究業績を上げている。

研究奨励賞

将来の研究進展が大いに期待される萌芽的研究を行った教員およびポストドクトラル(PD)研究員に対し、その業績の顕彰、研究推進の奨励を目的として授与する。

受賞者	研究テーマ	受賞理由
山方 啓 准教授 (量子界面物性研究室)	時間分解赤外分光法を用いた触媒表面反応の解析	光触媒の動作機構を明らかにするために、光パルスで励起した後の触媒の赤外分光特性を計測し、独創的な知見を得てきた。



瀧本理事長に表彰される成清辰生教授(左)

学外

受賞名	受賞者	研究室
日本機械学会畠山賞(学部)	小坂 真太郎(愛知県立国府高等学校出身)	固体力学研究室(学部4年)
日本機械学会三浦賞(修士)	酒井 英匡(私立名城大学附属高等学校出身)	機械システム分野 熱エネルギーシステム研究室(修士2年)
計測自動制御学会中部支部賞	清水 大河(トヨタ自動車株式会社)	制御システム学研究室(学部4年)
電気学会東海支部長賞	清水 大河(トヨタ自動車株式会社)	制御システム学研究室(学部4年)
精密工学会東海支部学生優秀賞	小坂 真太郎(愛知県立国府高等学校出身)	固体力学研究室(学部4年)

編集後記

3月に放送されたテレビドラマ「LEADERS」を観て、トヨタ自動車の創業期において奮闘した先人たちの姿勢には、我々も学ぶことが多いと改めて感じさせられました。新キャンパス建設工事もいよいよ始まる中、この度ADVANCEもリニューアルを行いました。本学の取り組みをより分かりやすくお伝えできるよう、たゆまぬ改善を行っていききたいと思います。